

よいことの  
ために  
手を取りあおう



# 脇町ロータリークラブ

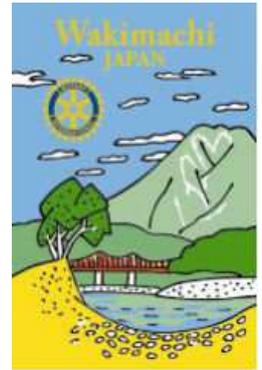
第2670地区

徳島第2分区 脇町ロータリークラブ

2025年9月11日(木)

第10回例会 No.2945

会員総数:38名 出席人数:21名 修正出席者:38名 修正出席率:100%



## ◎メイクアップ

9月7日 研修旅行:

小笠会員・岡本会員・笠井会員・河野会員・鉄野会員・友成会員・秦会員  
藤原武志会員・藤原義浩会員・細川会員・南会員・山本会員・佐藤直樹会員

9月9日 美馬RC例会:遠藤会員・宮本会員・佐藤直樹会員

9月9日 阿波池田RC例会:遠藤会員

## ◎会長挨拶

須藤会長

### クラブ活性化セミナー参加報告

先日6日に開催された「クラブ活性化セミナー」に参加してきました。

遠藤ガバナー補佐に同乗させてもらって細川幹事と鉄野さん4人で高知へ行ってきました。

会長挨拶のネタができると思い途中居眠りもしながらですが前のめりになって真剣に聞きました。

4名のスピーカーの方が研修をしてくれました。あれ?何言ってるのというか、わかりにくい方もおられましたが、そんな中から聞いたことで

「研修(トレーニング)から学び合い(ラーニング)へ」

というテーマに深く感銘を受けました。

これまでの“受け身の学び”から、“自ら気づき、行動し、変化を起こす学び”へと意識を転換する必要性を強く感じました。

セミナーでは、クラブの活性化にはメンバー一人ひとりが主体性を持ち、

「学び続ける姿勢」が大切だ。

という解釈を私はしましたが、単に情報を得るのではなく、それを自クラブの課題や目標にどう活かすかを考える姿勢

それこそが、これからのロータリーに求められるリーダー像なのだと実感しました。

今後は、例会や奉仕活動の中でも「ラーニング」の視点を取り入れ、クラブ全体が学び合い・高め合う文化を築いていけるよう努力していきたいと思います。

本日も有意義な例会となりますようよろしくお願いいたします。

## ◎幹事報告

### 細川幹事

**到着週報** 鴨島RC 洲本RC 阿波池田RC 美馬RC

**到着書類** 24-25地区大会記録誌  
ガバナーノミニ一候補（27-28ガバナー）のお知らせ  
美馬市社会福祉大会開催のお知らせ 10/9 9/25〆切

**報告事項** 9/7 大阪・関西万博研修（合計 28名 内会員 13名）  
地区大会宿泊先について  
1泊（13名）：西鉄イン高知はりまや橋  
2泊（10名）：高知サンライズホテル  
10/25 2次会出欠・移動手段 回覧

**連絡事項** 9/25 ガバナー公式訪問  
例会終了後にIM実行委員会を行います  
例会終了後に臨時理事会を行います

## ◎プログラム

### 卓話

**遠藤ガバナー補佐** 遠藤尚生と申します。1957年3月21日生まれの68歳で、大阪の玉造で生まれました。大阪環状線の玉造駅の近くです。玉造については、私は豊臣秀吉が大阪城を築いた際に鉄砲の弾を作っていた場所だと思っていましたが、実は古墳時代の勾玉も作っていたということで驚きました。高校まで尼崎で育ち、阪急塚口駅が最寄りの駅でした。1970年の大阪万国博覧会の時は、阪急を使って千里中央経由で万博西口まで行くことができました。京都で学生生活を謳歌していた時に知り合った彼女が今の家内です。徳島の脇町に住んで38年、ロータリーにお世話になって34年が過ぎました。脇町で知り合いのいない私にとって、ロータリーは友であり、先輩であり、経営の先生でもあり、心のよりどころでありました。これが最後のご奉仕と思って、力不足ではありますがガバナー補佐をお受けした次第です。「ユナイト・フォー・グッド（よいことのために手を取り合おう）」という国際ロータリー会長のメッセージに対して、織田英正ガバナーは次のように述べられました。「例えばロータリーがWHOやビル・ゲイツ財団と協力して行っているポリオ撲滅活動は、その好事例と言えます。」とても分かりやすく、私は気に入っています。当初、マリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴ氏が会長エレクトでしたが、東京で「スーパーマリオと呼んでいいよ」とおっしゃっていたものの、その後6月14日にスランチェスコ・アレツツォさんが急遽RI会長エレクトに選出されました。カルガリー国際大会で、スランチェスコ・アレツツォRI会長エレクトは次のようにスピーチされました。「ユナイト・フォー・グッド、このメッセージは全ての会員の参加を促すものですが、会員だけでなく地方の行政機関や他のボランティア団体なども

巻込むこと、つまり参加者の基盤を広げることを意味します。結束を促しワクワクした気持ちにさせ、世界だけでなく自分自身も変えるような壮大な夢と一緒に描きましょう。」この「参加者の基盤を広げる」という考え方は、2019年に発表されたロータリーの行動計画の中にも含まれています。すでに2019年7月以降、職業分類の制限は廃止されました。参加者の基盤を広げることは、ボランティアの志がある人たちにロータリークラブの門戸を開けることにつながります。社会に貢献している人であれば誰でも入会資格があります。織田英正ガバナーは高知南ロータリークラブ所属で歯科医師の先生です。1946年2月3生まれ79歳で、私より11歳年上の方です。これにもかかわらず四国中を駆け回られ、すこぶる健康で温厚な方で真面目な人柄だと感じております。特にマイロータリーがお好きなようで、私たちガバナー補佐にもマイロータリーを見て勉強するように指示されています。特に最新のニュースを知るためにも、週に一度は目を通すよう勧められています。今年度の織田ガバナーの方針は「地域密着のロータリーを目指そう」です。この地区ガバナー方針とスランチェスコ・アレツツォRI会長のメッセージを含めて、地域の皆さんと行政や各種団体と手を取り合い、一緒に良いことをしようという思いと私は捉えています。当地区のロータリー財団地区補助金の申請状況では、本年度も徳島第2分区分は11クラブ中10クラブが地区補助金を申請されています。第1分区分は10クラブ中5クラブ、地区全体では73クラブ中59クラブが申請をされています。これ以外にも各クラブはいろんな取り組みをされていますが、しかしながら、織田ガバナーがおっしゃる「ロータリーは何をやっているの？」という世間の認識を覆すまでには、残念ながら至っていないというのが現状ではないかと考えています。私たちはこのことに対してどう行動すべきか問われていると思います。少なくとも脇町ロータリークラブが問われています。「地域密着のロータリーを目指そう」とは、地域の皆さんに「ロータリーは何をやっているのか知っているよ」という結果が必要だと思います。脇町ロータリークラブ60周年記念式典では、つなぐMima World Community代表の原田先生にご講演いただきました。先生は子ども食堂の運営だけでなく、美馬市で行われた体験型社会学習や国際交流にも力を入れておられます。しかし、この徳島新聞の記事を見ても、残念ながら脇町ロータリークラブの文字がありません。私も9クラブ回りましたが、ほとんどのクラブでロータリークラブの文字がきちんと新聞に掲載されています。なぜ我がクラブだけ載らないのか。これは55歳代以下の若い世代にこれから考えていっていただきたいと思います。また脇町高校インターアクトクラブについても、学校側の意向によってクラブ活動をやったりやらなかったりしており、昨年度の委員長任せの体質は他のクラブとの違いを大きく感じました。もちろん私も責任を感じております。現在、西村会員がInstagramで広報活動を始めましたが、原田先生とも相談して、脇町ロータリークラブの名前が世間に出るよう、皆様にもお考えいただきたいと思います。ガバナー補佐になるにあたって、なぜか米山梅吉記念館に行くことを思いつき、行くならゴルフもしようということで、3人で静岡県へ向かいました。出発日は4月10日です。前日に記念館が開いているか不安になって電話をしましたが通じず、地区の支援事務所に問い合わせたところ、米山梅吉記念館とロータリー米山記念奨学会とは全く別の

組織であることが判明しました。メールで問い合わせをすると、ありがたいことに30分ほどで「どうぞお待ちしております」との返事をいただきました。朝6時に出発し、トイレ休憩だけで走り続けて、昼の1時に静岡県長泉町に到着しました。約束の2時に米山梅吉記念館に無事到着し、学芸員の市川真理さんにお出迎えをいただきました。記念館は1階がロビーとホールになっており、2階が展示室です。このホールは長泉ロータリークラブの例会場として使われています。長泉町は人口42,000人、ロータリークラブの会員数は21名です。他のクラブと違うところは、この児童図書館の運営委員会と同館の管理委員会があることです。展示室入り口の横には、米山梅吉氏の肖像画の大きな掛け軸が液晶パネルになっており、AI技術によって梅吉さんがご挨拶をしてくださいます。彼に最もよく似ているひ孫の方の声を利用しているとのこと。展示室では、米山梅吉氏の足跡とその時代の歴史的事象が動画パネルで並んで紹介されており、彼の遺品も展示されていました。学芸員の市川真理さんに30分ほど案内していただき、二つのことが特に印象に残りました。一つ目は、1964年に行われた東京オリンピックの聖火台はロータリーが寄付したものであるということ。二つ目は、1970年の万博では会場内にエキスポクラブを設け、例会を開催したことです。その例会は153日間、232クラブ、23,380人の参加者があったということ。単純に計算すると、1日153名がそこで例会を行ったということになります。その後、裾野カンツリー倶楽部にゴルフに行きました。シニアプロのファンケルクラシックが開催されている名門コースで、18ホールどこからでも富士山が見えるのがこのクラブの良いところだそうです。しかし残念ながら雲が立ち込めた1日で、富士山はかすかにも見えませんでした。翌日は煩惱を払おうと久熊山東照宮に参りました。1059段の階段を上ることになり、「聞いてなかったぞ」と言っても、もう時すでに遅く登ることとなりました。あれ以来、足腰の衰えを実感した私であります。皆様方も、ぜひ一度米山梅吉記念館へ行ってみてください。きっと新しい発見があると思います。米山梅吉氏とロータリー米山記念奨学会との関係については、来年2月22日に美馬市で行うIMで詳しくご紹介できるものと思います。たくさんの皆さんにお越しいただき、脇町RCは全員がご参加いただけますよう、よろしく願い申し上げます。以上で私の卓話とさせていただきます。

## ◎ニコニコボックス

## ◎次回例会

2025年 9月 18日 (木) 12:30 ~ 清月屋敷

## ◎次回プログラム

次回卓話 河合会員

☆次の会員は例会欠席でした。

足谷会員・安部会員・岡本会員・小野会員・兼西会員・上柿会員・木下会員・佐藤順二会員  
佐藤俊彦会員・武田会員・千葉会員・友成会員・西村会員・橋本会員・秦会員・山本会員  
吉野会員

☆次回例会の出欠を 佐藤直樹出席委員長まで連絡してください。